

比嘉春潮 いしかる ちゅう 郷土史家。明治十六年一月七日沖繩縣西原村生れ、

昭和五十一年十一月一日歿（六八三—一九七七）。明治二十九年沖繩師範学校卒。

小學校校長、「沖繩朝日新聞」記者を経て、大正八年沖繩縣廳勤務。

十一年改造社に入り、のち出版部主任となる。伊波普猷の影郷をを受け沖繩研究を始め、柳田國男の師事して南島談話會に加はる。

『比嘉春潮全集』全五巻（昭和四十六—四十八年刊）がある。

著書に、『沖繩』（霜多正次・新里恵）二共著、昭和二十八年一月—二十五

日岩波書店「岩波新書」）、『蠹魚庵漫章』（昭和四十六年九月—二十

日勁草書房）等。

